

事務事業評価における総括

部 局 名	こども育成部	記入責任者	細見 明子
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>こども育成部の政策的事業は 39 事業あり、S 評価が 28 事業、A 評価が 9 事業、B 評価が 1 事業、Z 評価が 1 事業と概ね指標を達成しています。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>子育てに関わるニーズの把握に努め、環境整備を進めてきた結果として、多くの事業で指標を達成し、成果を上げることができました。</p> <p>なお、療育相談事業は、適切に支援を行い、目標を達成していますが、年々相談が複雑・多様化しており、専門性を有する職員の配置、職員の育成が課題となっています。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>「第 2 期茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、保護者が安心して子育てができ、子どものより良い育ちを実現するため、暮らしの変化やライフステージに応じた子ども・子育て支援を継続的に進めていきます。</p> <p>子どもの未来応援対策については、令和元年 6 月に設立した「子ども未来応援基金」を活用し、「子ども食堂支援事業」及び「ひとり親家庭総合相談事業」を実施します。</p> <p>家庭児童相談事業については、特にこども育成相談課に設置している「子ども家庭総合支援拠点」と保健所健康増進課に設置している「子育て世代包括支援センター」との連携を強化して、児童虐待の早期発見と未然防止に取り組めます。</p> <p>保育所等については、令和 2 年 4 月 1 日時点で待機児童ゼロを達成しましたが、未だ保育児童がいることから、引き続き、待機児童ゼロの継続を目標に、保育所等の整備や保育士確保策に取り組めます。</p> <p>児童クラブについては、待機児童が年々増えていることから、「茅ヶ崎市児童クラブ待機児童解消対策」及び「茅ヶ崎市児童クラブ待機児童解消対策の時点修正について」に基づき、対策に取り組めます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として、生活に影響を受けている子育て世帯への臨時特別給付金、ひとり親家庭等支援特別給付金、ひとり親世帯臨時特別給付金の支給を速やかに行います。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中では、保育園等の所管施設内での感染を発生させないよう引き続き取り組みを行うとともに、「茅ヶ崎市新型コロナウイルス感染症対策政策パッケージ」に基づき、感染防止対策に取り組めます。</p>			